

実世界における対話システム

吉野 幸一郎¹

概要：近年の深層学習技術などの進展から、ヒューマンインタフェースとして言語を用いる対話システムへの期待が高まっている。こうした対話システムを実世界で用いようとする場合、実世界の事物を認識して対話の共通基盤として用いることができるかが大きな問題となる。具体的には、ユーザと同じ空間で動作をすることが期待される対話ロボットなどの場合、実世界における事物の認識と、ロボットが持つ知識、対話中の言語で表現された概念のそれぞれを対応づけて用いる必要がある。本講演ではこうした実世界で動作する対話ロボットの取り組みについて紹介し、今後必要な研究の取り組みについて議論する。

¹ 理化学研究所情報統合本部 ガーディアンロボットプロジェクト